
東方軍次録？

わさび

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方軍次録？

【Nコード】

N 6 4 8 4 Y

【作者名】

わさび

【あらすじ】

働かない主人に辟易した藍は、月の医者に頼んで噂を聞いてやってきた幽々子と共に紫を懲らしめようとしていた。

紫は現代に何を見るのか？

青年は幻想に何を見るのか？

管理人が現代入りしたようです。（前書き）

―登場人物―

・八雲紫

主人公1通称ゆかりん。永遠の17歳

・八雲藍

ゆかりんを懲らしめようと立ち上がった式

・西行寺幽々子

暇だし面白そうだったから藍に加担した。

・八意永琳

黒幕な月の頭脳

ゆかりんはその事をまだ知らない

管理人が現代入りしたようです。

？　式の思惑と月の医者助力

「藍　じゃあお願いね」

「はあ　分かりましたよ…」

八雲紫は式にいつものように仕事を丸投げすると、すやすやと寝息を立て始めた。

いつも通りといえはいつも通りだが今日は何か違った。

「紫様　少しは働いたら良いのに…」

八雲藍はそうこぼすと、何やら怪しげな八意印のお香をたいて、家を出て行った。

ーそして少し時は進みー

「ただいま」

藍は帰宅するなりお香を回収し、紫を起こす。

「紫様　スキマに幽々子様が食べられてますが…？」

「あるえー？あんな所に開いたかしら」

紫がスキマを広げ、幽々子を白玉楼に送った…筈だったが何故か幽々子は目の前に居た

「あるえ　おかしいな」　紫が一人悶々と考える中、藍と幽々子がアイコンタクトを取り

「紫？これはどういう事かしら？」

「白玉楼に返した筈だったんだけど…」

「あなた疲れてるのよ。きつとそうね。スキマの midpoint 検とかしてみれば？」

「うゝん…そうね」

そういうと紫はスキマを開き、中に入っていった。

そして勝手にスキマが閉じ、紫は閉じ込められてしまった。

「やっぱり八意さんは凄いですね」

「ええ、凄い効き目ね」藍と幽々子はお茶を啜りながら談笑を続けたのだった。

「ぬかった!？」

その頃紫は脱出しようとスキマを開き、身を投じた。だが行き先なんて所まで頭が回らなかったようだ。

だがその行動も全てえーりんの掌で踊らされてるに過ぎなかった。

・八意のお香

効果：速効性の思考力の大幅の低下。

遅効性の能力封印

管理人が現代入りしたようです。（後書き）

初投稿でござえます。

わさびです。

ツーンとくる山葵です。

作者はあまり文章は得意でないけど他の作者さんたちの読んでたら書きたくなってしまいましたぜ。

生暖かい眼差しを向けてくれると嬉しいです。

八割フィクションでお送りします。

二割は何かって？

実話…かな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6484y/>

東方軍次録？

2011年11月20日01時19分発行